

2月15日 | バラと共にすくすくと

ばらの丘公園の大温室で、昨年中に生まれた新生児 443 人に、バラの苗木が贈られました。緑を大切にする心の啓発と地域の緑化推進に加え、子どもたちがバラと共に輝かしく健やかに成長することを願って、毎年島田市が実施しています。

苗木に付けられた開花後のバラの写真を見た家族は、将来のわが子の成長と重ねていました。



2月16日 | 梅の花が香るふるさと

伊太地区の新東名高架橋下広場で、恒例の「伊太まつり」が開催されました。「ふるさと伊太を明るくする会」を中心に毎年行われているイベントで、見ごろを迎えた梅を一目見ようと、多くの家族連れでにぎわいました。

「切り枝の無料配布」のブースは、開始と同時に切り枝目当ての来場者で大混雑。ほかにも、地元のバンドやダンスチームが登場して、雰囲気盛り上げていました。

2月28日 | 人形になりきって「すまし顔」

こぼと保育園で、女の子の健やかな成長を祈る「ひな祭り」が行われました。

ひな祭りの歌や紙芝居などを楽しんでいると、年長児 11 人が、お手製の等身大「ひな人形」の衣装に着替えて登場。残りの園児たちは、突然の出来事に目を丸くしながらも、いつもより大人に見えるお兄ちゃん・お姉ちゃんたちに、笑顔で拍手を送っていました。





2月24日 | 落語の小話に挑戦

第二中学校体育館に、落語家三遊亭遊喜さん（島田市出身）を招き、全校生徒が和文化に触れ、キャリア教育を受けました。

「落語は想像力。想像しないと何も伝わらないため、目線や身振りを何度も練習する」と語る遊喜さんの話から、落語の奥深さを感じた生徒たち。「我こそは」と小話に挑戦した生徒は、みんなから拍手喝采を浴びていました。

2月14日 | 目の当たりにした生命の神秘

初倉小学校に、巨大なスズメバチの巣が寄贈しました。巣は、金谷富士見町にある市の事業用地で発見され、職員が慎重に撤去し、壊れないように4日間かけて固めました。

展示コーナーに飾られた巣を見た児童たちは「とても大きくてびっくりした」「丸い形と模様がきれいで驚いた」など、自然界が作り出す生命の神秘を目の当たりにして、声を弾ませていました。



2月9日 | 僕らは未来の発明家

こども館で、市内の小学3年生から6年生30人が参加して、創作実験教室「NEC ガリレオクラブ」が開講されました。

現代社会で活躍する「おすしロボット」や「介護ロボット」などの説明を受けた後、子どもたち自ら「紙コップロボット」を製作。個性あふれるロボットが完成すると、リモコンを手に操縦して科学の楽しさを実感していました。